

2025 年度事業報告書

(2025 年 4 月 ~ 2026 年 3 月)

事業の状況

1. 競技者登録 チーム登録 3,406 チーム 個人登録 32,177 人

2. 競技会の開催
 - ① 2025 年度日本マスターズ水泳短水路大会
4 月 5 日 ~ 6 月 15 日 全国 28 会場 (別表 1 参照)
参加者数のべ 21,153 人、38,074 種目 (個人 35,381 種目、リレー 2,693 種目)
 - ② 第 40 回日本マスターズ水泳選手権大会 (ジャパンマスターズ 2025)
競泳競技 9 月 17 日 ~ 21 日 札幌市平岸プール
参加人数 2,900 人、6,329 種目 (個人 6,057 種目、リレー 272 種目)
OWS 競技 9 月 7 日 常滑りんくうビーチ
参加人数 69 人
一般社団法人愛知水泳連盟「愛知りんくうオープン 2025」との共同開催
 - ③ 第 3 回日本マスターズ水泳チーム対抗競技大会
7 月 19 日 ~ 20 日 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
参加人数 735 人、1,817 種目 (個人 1,496 種目、リレー 321 種目)
 - ④ 2025 年度日本マスターズ水泳長距離大会
10 月 25 日 ~ 26 日 サンフロッグ春日井
参加人数 276 人、297 種目 (個人 267 種目、リレー 30 種目)
 - ⑤ 第 12 回日本マスターズ水泳スプリント選手権大会
(ジャパンマスターズスプリント 2025)
西会場 11 月 15 日 ~ 16 日 インフロニア草津アクアティクスセンター
参加人数 1,435 人、2,996 種目 (個人 2,783 種目、リレー 213 種目)
東会場 11 月 29 日 ~ 30 日 千葉県国際総合水泳場
参加人数 2,895 人、5,801 種目 (個人 5,428 種目、リレー 373 種目)

3. 地域大会の奨励指導
 - ① 公認大会 11 大会に競技委員派遣。
 - ② 地域担当理事会議を開催し、各地の競技会開催を奨励。

4. 競技会および記録の公認 (2025 年)
 - ① 公認競技会 94 大会を開催 (主催、記録会、海外を含む)。
 - ② 121,964 件の記録を公認。

5. 国際大会の開催
主催および共催の競技会実施はない。

6. 日本記録公認および世界記録申請

- ① 日本記録樹立 596 個
- ② 世界記録樹立 132 個

世界記録を突破した記録を公益財団法人日本水泳連盟承認のもと世界水泳連盟 (World Aquatics) へ世界記録公認申請を行った。

7. 安全活動の促進

公益財団法人日本水泳連盟医事委員会、日本水泳ドクター会議、日本水泳トレーナー会議および公益財団法人日本ライフセービング協会と連携し、競技会の安全体制を確立するため、安全委員会を再設置した。

8. 競技会参加者の利便性の向上

- ① 競技会参加者の利便性を向上し参加意欲の向上を図るためのスマートフォンアプリ「JAPURI」の運用。
- ② AD カードの Web ダウンロードの仕組みを構築。
- ③ 競技会の YouTube 配信、Facebook、Instagram などの発信を継続。

9. 普及促進活動

- ① ジャンボウポイントランキングを公表、上位入賞者の表彰式は 2026 年 7 月のチーム対抗戦会場で行う。
- ② マスターズ水泳競技者登録促進のため、関東学生選手権大会（7 月 30 日～31 日 東京アクアティクスセンター）でブースを設置し宣伝活動を行った。
- ③ 競技役員講習会を東京、宮城、大阪で以下の通り実施。日本水泳連盟審判資格取得のための講習会を初開催。
審判資格講習会 大阪 2 月 22 日 参加 32 人
競技役員講習会 仙台 1 月 17 日 参加 55 人
東京 2 月 28 日 参加 69 人
大阪 3 月 1 日 参加 42 人
- ④ マスターズスイマーと指導者のためのクリニックを実施。
6 月 21 日 東京体育館 会場参加 25 人、オンデマンド受講 17 人
- ⑤ 田中雅美氏、星奈津美氏を講師に迎え、マスターズクリニック 2025 を実施
1 1 月 15 日 インフロニア草津アクアティクスセンター 参加 30 人
1 1 月 29 日 千葉県国際総合水泳場 参加 29 人

10. 国内外の水泳団体との協力

- ① 公益財団法人日本水泳連盟へ加盟を継続。
- ② 公益財団法人日本水泳連盟、一般社団法人日本スイミングクラブ協会、一般社団法人日本パラ水泳連盟と共催し、水泳の日 2025 を 10 月 26 日、宮崎で開催した。

- ③ 一般社団法人日本スイミングクラブ協会が主催するマスターズ水泳競技会の公認ならびに協力を行った。
- ④ 公益財団法人日本スポーツ協会ならびに公益財団法人日本水泳連盟主催の日本スポーツマスターズ 2025 水泳競技での登録者の記録を公認した。
- ⑤ 世界水泳連盟へ年間国内トップ10の記録情報を提出した。

11. 栄章

- ① スポーツグランプリ
2025年度は推薦依頼なし。

12. 刊行物

年間の公認記録を集計し、全国50傑ランキング2025を刊行した。

13. 財団

一般財団法人GSTR財団の紹介で近畿日本ツーリストより500,000円の協賛金があった。

以上